

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 27 年 3 月 26 日 (木) (19:00~20:00)		
実施場所	城之古第 3 町内集会所	参加人数	12 人
参加対象	十日町南地域自治振興会 (対象: 城之古第 3)		
懇談内容	<p>【1. 発言者】</p> <p>① 十日町病院の建設工事では患者さん達の駐車場が心配である。中には、コダマ薬局や原信、市役所等に駐車し、苦情が来ている。何とかならないか。</p> <p>② 十日町病院は県立ということで優秀な医師や看護師が来てくれている。十日町病院はずっと県立であってもらわないと、優秀な医師や看護師の確保が難しい。</p> <p>③ 議員に相談しようとしても、選挙により人が代わることがある。人により話も異なり、こちらも同じ話の繰り返しになってしまう。誰を信じて良いのか分からない。</p> <p>【市長】</p> <p>① 以前から駐車場の問題はあった。工事のため駐車場が遠くなったが、駐車可能台数は以前より増えている。申し訳ないがしばらくの間我慢願いたい。駐車スペースがどのくらい足りないかを常々確認している、どうかご理解願いたい。</p> <p>② 塚田院長は、県内でも屈指の院長である。院長から頑張ってもらいたい。医師を連れてくることに関しては力をお持ちだと思う。泉田知事は県立での病院運営を辞めたいと言っているが、踏みとどまってもらわないといけない。県の力で医師を連れてきてもらわなければいけない。</p> <p>③ 3年前に政権が自民党に交代し、道路に関しては、前進しているのは事実だ。連続性も大事だということを皆様も勉強されたと思う。</p> <p>【2. 発言者】</p> <p>① 十日町病院の除雪をもう少し早くできないか。早い時間の病院勤務の方が駐車できない。银杏の木の辺りは、朝7時頃だと邪魔になるので止めさせない。32年の完成までこの問題がある。早めに解決してほしい。</p> <p>② 陳情は毎年行った方が良いのか。役員は毎年変わり、建設課長から顔を覚えてもらえない。やってほしいことがあってお願いに行くが、役員が毎年交代することについて、陳情を受ける側としてもどうなのか。</p> <p>【市長】</p> <p>① 完成まで4回冬を越すことになる。除雪に関してはよく話しておく。</p> <p>② 我々も国や県へ訪問するが、だんだんと仲良くなっていくといいかもしれない。議員さんと来庁される方々もいるが、覚えてもらおうとしたら、こうした方法もありだと思う。</p>		

【3. 発言者】

- ① 少し雨が降ると住宅玄関に水が上がり込む。現在、道路の側溝が片側一本しか入っていないので、両側に入れてほしい。また、町内の舗装で、亀裂が入っていたり、剥離があったりする。消雪パイプもあるが、なかなか雪解けが悪い。計画的に遂行してもらいたい。
- ② この地域の下の田んぼや畑で、農業資材のいらなくなったものや籾殻に火をつけて燃やしている。野焼きをしてはいけないこととなっているが、再度PRするなどして周知してもらいたい。

【市 長】

- ① 検討する。
- ② 分かった。

【4. 発言者】

趣味で妻有焼をしているが、陶芸センターは今後どうなるのか。

【市 長】

指定管理を募集したところ、どなたからも手が挙がらなかった。平成27年4月からは市が直営で運営する。指定管理を引き受けてくれる方がいればお任せしたい。絶えるということはない。現在、子どもたちの陶芸体験も好評なので、引き続きやっていきたい。腕のある方がクロス10で採用されたので、クロス10にこの業務を委託しながらやっていく。

【5. 発言者】

代行道路から下の田んぼへつながる道があるが、その途中で崖の側面が崩れないようにしてある箇所がある。雪が降ったときに上方だけ止めてあるが、下方は止めていなかった。そのせいで下方の雪が崩れ、上方はぶら下がっている状態であった。ハウス栽培している人にとっては大変なことだ。これについては県なのか、市なのか。

【市 長】

調べてみる。